



上田保健所管内の飲食店で ウエルシュ菌による食中毒が発生しました

本日、上田保健所は上田市内の飲食店を食中毒の原因施設と断定し、当該施設の営業者に対し令和6年6月29日から令和6年7月1日まで、3日間の営業停止を命じました。

患者は、6月22日に当該施設が調理、提供したキーマカレー弁当を喫食した2グループ49名中の2グループ41名で、長野保健所が行った検査により、患者便及び弁当の残品からウエルシュ菌が検出されました。

なお、患者は全員快復しました。

【事件の探知】

令和6年6月23日午前8時45分頃、飲食店の営業者から「6月22日に自社で調理、提供したキーマカレー弁当を食べた者のうち20名程が体調不良を呈している。」旨の連絡がありました。

【上田保健所による調査結果概要】

- 患者は、6月22日に当該施設で調理、提供されたキーマカレー弁当を喫食した49名中41名で、同日午後1時頃から、下痢、腹痛等の症状を呈しました。
- 患者は、当該施設で調理、提供されたキーマカレー弁当を共通して喫食していました。
- 長野保健所が行った検査により、患者便及び弁当の残品からウエルシュ菌が検出されました。
- 患者の発症状況は、ウエルシュ菌による食中毒の症状と一致していました。
- 患者を診察した医師から、食中毒の届出がありました。
- 以上のことから、上田保健所は当該施設で調理、提供されたキーマカレー弁当を原因とする食中毒と断定しました。

担当保健所	上田保健所	
患者関係	発症日時	6月22日 午後1時頃から
	患者症状	下痢、腹痛等
	患者所在地	上田市、東御市、小県郡、他
	患者数 及び喫食者数	患者数/喫食者数：41名/49名 (患者内訳) 男性：13名(年齢：10歳未満～70歳代) 女性：28名(年齢：30歳代～70歳代)
	入院患者数	0名
	医療機関受診者数	3名(受診医療機関数：3か所)
原因食品	令和6年6月22日に当該施設で調理、提供されたキーマカレー弁当	
病因物質	ウエルシュ菌(エンテロトキシン産生)	
原因施設	施設所在地	上田市
	営業許可業種	飲食店営業
措置	食品衛生法に基づく営業の停止 令和6年6月29日から令和6年7月1日まで3日間 (この施設は6月24日から営業を自粛しています。)	

[参 考]

患者へ提供されたメニュー	キーマカレー、ゆで卵、玄米ご飯、ピクルス	
検査結果	ウエルシュ菌 (エンテロトキシン産生)	患者便：8検体中8検体から検出 食品：4検体中2検体から検出

[参 考] 長野県内（長野市・松本市含む）における食中毒発生状況（本件含む）

令和6年度 (うち 長野市・松本市)	11件 (4件)	232名 (129名)
令和5年度 (うち 長野市・松本市)	10件 (3件)	205名 (30名)

~~ウエルシュ菌による食中毒~~

[特 徴]

ウエルシュ菌は、ヒトや動物の腸管、土壌など自然界に広く住み着いています。この菌は酸素を好まない（嫌気性）菌で、芽胞（がほう）と呼ばれる胞子のような形態をとることがあり、その状態だと熱や乾燥に非常に強い特徴を持っています。食品を大釜などで大量に加熱調理すると、中心部が無酸素状態になり、芽胞の状態で生き残ったウエルシュ菌が適温になると発芽し、活発に発育を始めます。こうしたウエルシュ菌が多数増殖した食品を人が食べることにより、食中毒を発症します。

[症 状]

潜伏期間は6～18時間と比較的短く、その主な症状は水様性の下痢と腹痛です。多くは1～2日で回復し、特別な治療は必要ありません。

[予防方法]

カレー、シチューなどの煮込み料理や野菜の煮物は、調理したらなるべく早く食べるようにしましょう。一度にたくさん作ったときは、本菌の発育しやすい45℃前後の温度を長く保たないようにしましょう。具体的には、小分けしてから急速に冷却（15℃以下）し、冷蔵もしくは冷凍保存しましょう。また、食品を温め直すときは、かき混ぜながら中心部まで十分に火が通るよう（75℃以上）にしましょう。「加熱したから大丈夫」といった過信は禁物です。

(問合せ先)

上田保健所 食品・生活衛生課 食品・動物衛生係
(担当) 中曽根、藤井、根本
電話: 0268-25-7152(直通)
0268-23-1260(代表)(内線 2314)
FAX: 0268-25-7179
E-mail uedaho-shokusei@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

健康福祉部 食品・生活衛生課 食品衛生係
(担当) 福井、松本、塚田(滉)
電話: 026-235-7155(直通)
026-232-0111(代表)(内線 2661)
FAX: 026-232-7288
E-mail shokusei@pref.nagano.lg.jp